

令和5年度 川口市行政評価外部評価委員会 アンケート結果

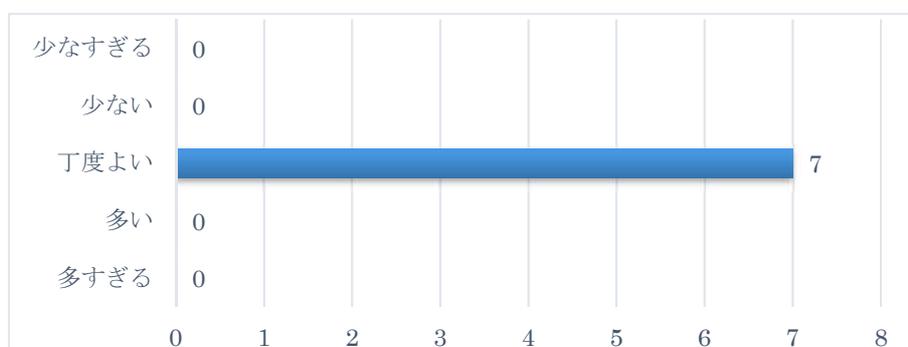
（1）外部評価委員アンケート結果

- 〈対象者〉 川口市外部評価委員会委員 7名
〈実施日〉 令和5年8月25日（金）
〈実施方法〉 第3回会議にて

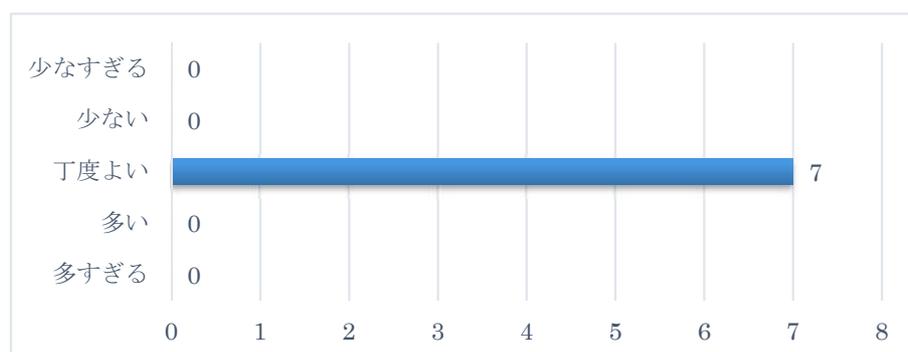
《外部評価委員会の運営について》

【Q1】評価事業数

- ① 評価事業の数(2事業)はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

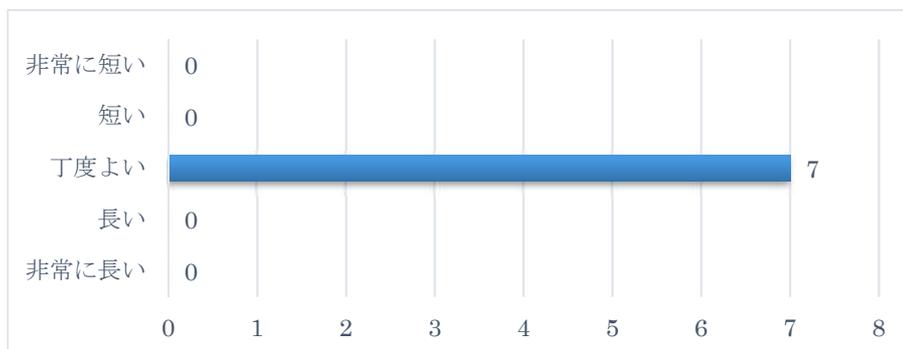


- ② 会議の開催回数はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

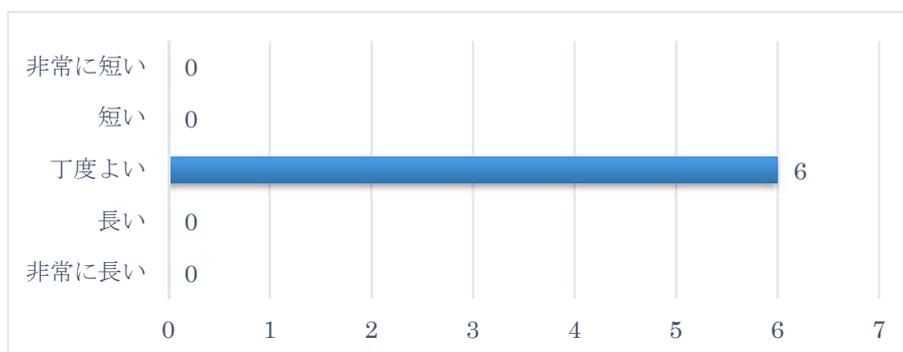


③ 会議全体の所要時間はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

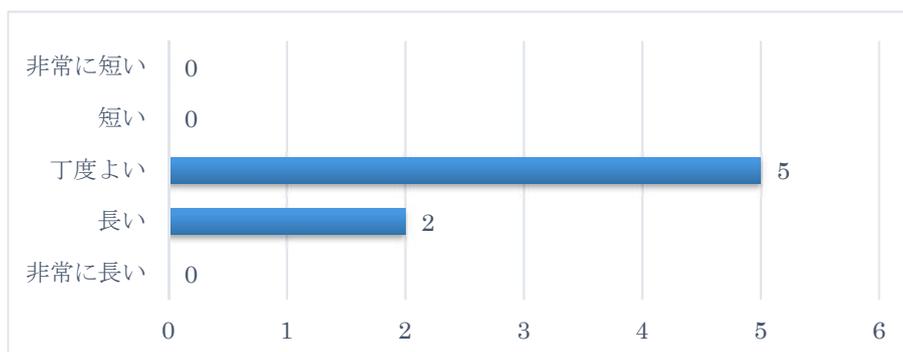
【第一回】(約50分)



【第二回】(約1時間30分)

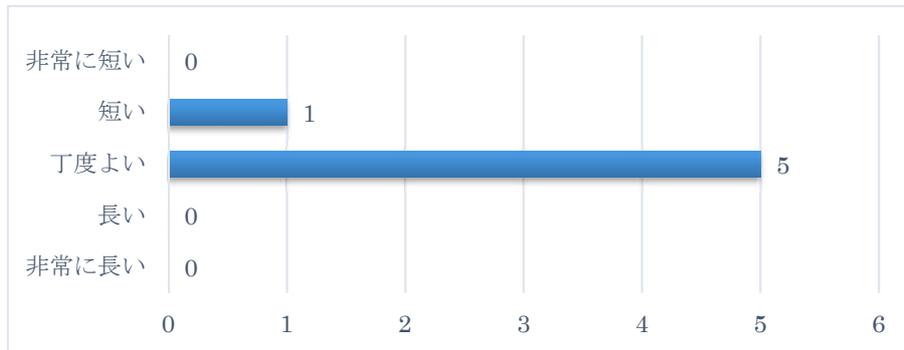


【第三回】(約2時間20分)

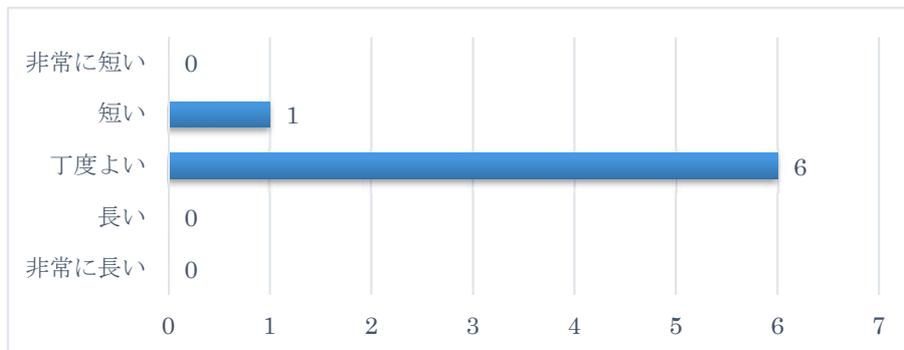


④ ヒアリングの所要時間はいかがでしたでしょうか。(〇は1つのみ)

【第二回】(約20分)

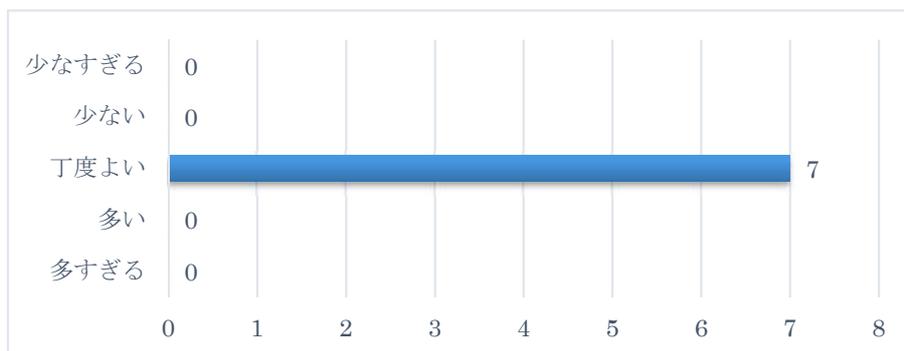


【第三回】(約20分)

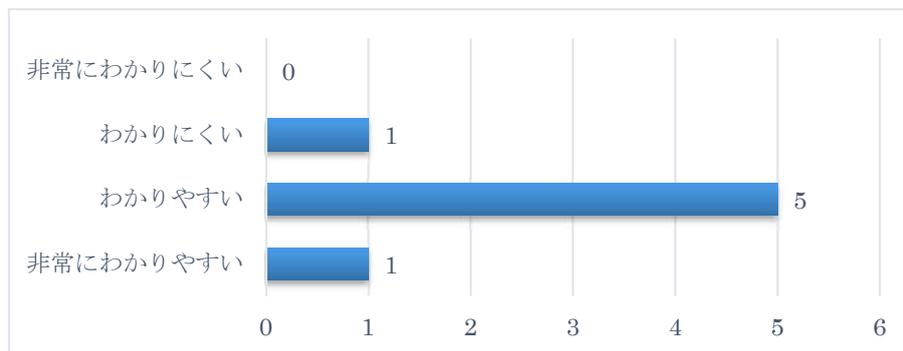


【Q2】外部評価対象事業の資料について

① 資料の量はいかがでしたでしょうか。(〇は1つのみ)



② - 「事業内容説明シート」はわかりやすかったですか。(○は1つのみ)



② - 2 上記をご選択いただいた理由等ございましたら、記載してください。(自由記述)

- よくまとまっていて、初見でも理解しやすい。
- 簡潔に1ページにまとめられていて分かりやすい。
- もう少し具体的な説明が欲しい。

③ その他、外部評価委員会の資料につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

- よく出来ていると思う。
- 事前に送ってもらったので、事前に目を通して参加できて良かった。

【Q3】事業概要説明について

① - 1 評価対象事業の選定理由や懸案事項等をご理解いただくことを目的に、第1回会議開催前に、事務局において、委員の皆さまに対し、説明を行いました。会議実施前の説明として、説明の手法も含め、内容はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)



① ー2上記をご選択いただいた理由等ございましたら、ご記載ください。(自由記述)

- 説明が丁寧でとても分かりやすかった。
- 対象事業の理解が進んだ。
- 評価のポイントが分かった。

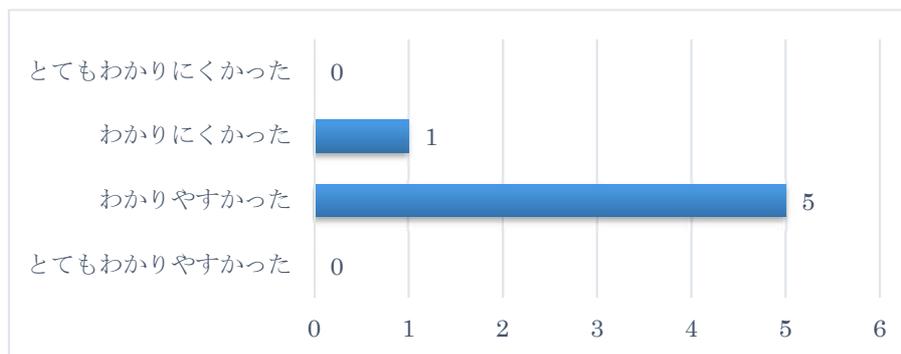
② その他、事業概要説明につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

意見なし

【Q4】事前質問やヒアリングについて

① 第1回委員会終了後に、委員の皆さまから事前質問をご提出頂き、第2回委員会にて事業担当課が事業概要の説明と併せて、事前質問への回答を行いました。

事業担当課の事前質問に対する回答内容はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

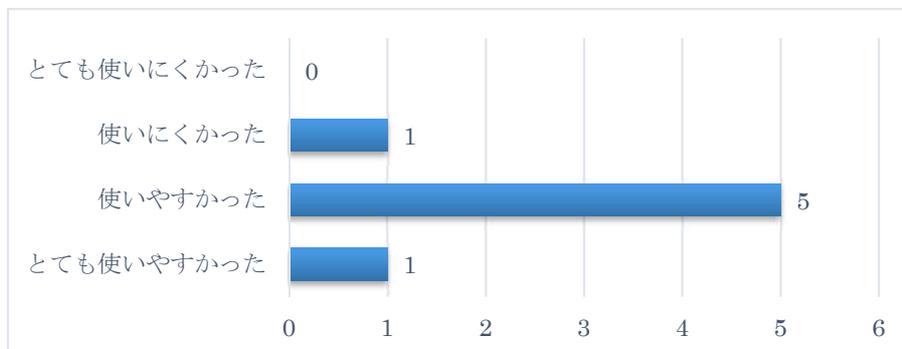


② 事業担当課とのヒアリングについて、ご意見等ございましたら、ご記載ください。(自由記述)

意見なし

【Q5】kintone によるオンラインでの資料閲覧について

- ① 委員の皆さまとの資料共有の手段として、kintone を使用しています。
オンラインでの資料閲覧はいかがでしたか。(○は1つのみ)



- ① - 2 上記をご選択いただいた理由等ございましたら、ご記載ください。(自由記述)

- 問題なく資料を見ることができたため。
- 普段使うことのないシステムなので、使いやすくはあったが、なじむとまではいかなかった。

- ② その他、kintone によるオンラインでの資料閲覧につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

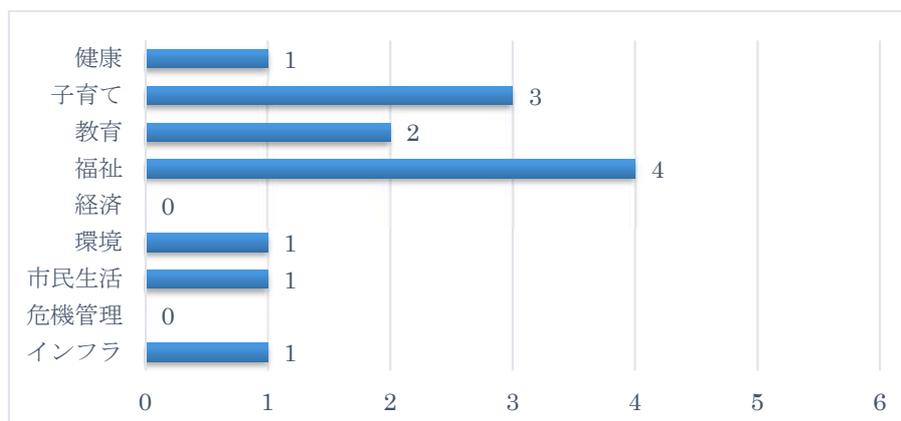
意見なし

【Q6】評価対象事業について

- ① 対象事業を選定する際の視点としてあったら良いと思われることは何でしょうか。
(複数選択可)



②評価してみたい行政分野はございますでしょうか。(複数選択可)



③具体的に評価してみたい事業がございましたら、ご記載下さい。

- 事業名はないが、市の取組みが変わることで効果が上がり、市民サービス向上に繋がる事業を評価したい。

【Q7】その他

上記設問の他、外部評価委員会に関するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

- 有意義な会だと思えます。自分としても勉強になりました。
- 初めて参加させていただき、とても良い経験になりました。
- 外部評価しやすいように、分かりやすい資料の作成や委員のフォローなど、きめ細かい支援をありがとうございました。
- 資料の改善でさらに分かりやすくなりました。ありがとうございました。

[2]アンケート結果のまとめ

令和5年度の川口市行政評価外部評価委員会は、昨年度と同様の手法で定性的評価及び定量的評価を実施した。今年度より部会制を廃止し、委員数を10名から7名へ変更し全員で同じ事業の評価を行った。

第3回外部評価委員会後に実施したアンケート調査によれば、評価事業数や会議の所要時間など委員会全体の運営等に関して大部分は妥当という意見が寄せられたが、第3回の所要時間が長いほか、第2回・第3回のヒアリングの所要時間が短いという意見もあった。事前説明の実施や、事業内容説明シートは簡潔にまとまっており初見でも理解しやすいという評価だったが、もう少し具体的な説明を求める意見もあり、次回の委員会開催に向けての検討課題となった。

なお、第2回は1名の委員が欠席であったため、母数は6名となる。

《外部評価委員会の運営について》

【Q1】評価事業数

【Q1】評価事業数、会議開催回数については7名中7名が「丁度よい」と回答した。会議全体の所要時間については、第1回については7名中7名が「丁度よい」、第2回については6名中6名が「丁度よい」だったのに対し、第3回については7名中5名が「丁度よい」、2名が「長い」と回答し、第3回のみ「長い」という意見が出る結果となった。

ヒアリングの所要時間については、第2回は6名中5名が、第3回は7名中6名が「丁度よい」、それぞれ1名が「短い」と回答し、概ね適切と思われるが短く感じている委員もいた。

【Q2】外部評価対象事業の資料について

【Q2】外部評価対象事業の資料の「量」については、7名中7名が「丁度よい」と回答した。また、「事業内容説明シート」のわかりやすさについては、7名中5名が「わかりやすい」と回答し、1名が「非常にわかりやすい」、1名が「わかりにくい」と回答した。簡潔に1ページにまとまっていて初見でも理解しやすいといった意見が多かった一方で、もう少し具体的な説明が欲しいとの意見もあった。

評価対象事業の説明として、事業担当課はシートをそのまま読み上げるのではなく、委員が事業をイメージしやすいよう工夫するなど、引き続き検討する必要がある。

【Q3】事業概要説明について

【Q3】事業概要説明については、7名中5名が「わかりやすかった」、2名が「非常にわかりやすかった」と回答した。他にも「対象事業への理解が進んだ」、「評価のポイントが分かった」という意見もあり、第1回委員会開催前に、評価対象事業の選定理由や懸案事項等を説明することで、事業の概要を理解いただくという目的は概ね達成されたと考えられる。事前説明については、委員に対象事業のことをより深く理解していただけるよう、今後も引き続き実施していきたい。

【Q4】事前質問について

【Q4】事前質問に対する回答内容については、7名中5名が「わかりやすかった」と回答し、1名が「わかりにくかった」と回答し、1名は無回答だった。委員の質問の意図を汲み取り、担当課と共有し、分かりやすい回答となるよう事務局からも働きかけていく必要がある。

【Q5】kintone によるオンラインでの資料閲覧について

【Q5】オンラインでの資料閲覧については、7名中5名が「使いやすかった」と回答し、1名は「とても使いやすかった」、1名は「使いにくかった」と回答した。他には、使いやすかったとしながらも、普段使うことのないシステムなため馴染むとまではいかなかったとの意見もあった。

【Q6】評価対象事業について

【Q6】評価対象事業を選定する際の視点としてあったら良いと思われることについては、3名が「市民に身近な事業」、それぞれ2名が「類似事業」と「過去に評価した事業の再評価」、それぞれ1名が「事業の効果」「収益性」「必要性」と回答した。評価してみたい行政分野については、4名が「福祉」、3名が「子育て」、2名が「教育」、それぞれ1名が「健康」「環境」「市民生活」「インフラ」という結果となった。具体的に評価してみたい事業については、市の取組みが変わることで効果が上がり市民サービス向上に繋がる評価を実施したい、との意見があった。票数の多かった視点や行政分野、いただいた意見を参考に、次年度の対象事業を検討していきたい。

[3]今後の検討課題

◆評価対象事業の理解度の向上

今年度の外部評価委員会でのアンケートにおいて、事業担当課からの回答に対して、わかりにくいという声もあったことを受け、事務局からの事前説明においても分かりやすく説明する必要があり、単に資料を読み上げるだけでなく、委員が事業をイメージしやすいよう説明を工夫するなど、引き続き、理解度を高めるための方法を検討していく必要がある。

また、事業への理解度が上がれば、事前質問やヒアリングにおいても活発な意見交換をすることが出来るため、外部評価の本来の目的である行政評価の妥当性を評価することにおいても、委員同士の共感を高めることが出来るのではないかと考える。

今後も事業担当課とのコミュニケーションを重視するとともに、委員同士の議論が活発に展開するよう制度の充実を図っていく。